

茨木スクールカウンセラー研究会 日記

第25回 2013年8月開催 さらなる理論と実践へ の巻

今回も、アタッチメントに関する本の輪読と、ケースへのコメント練習の二本立てでした。5月から始まったこの形ですが、少しずつ形になってきました。

今回のケースは、「ケース検討会で意見を求められたとき、コメントが浮かばず困った…」というものでした。まさに、この研究会で今年のテーマとなっていること（「コメント力」）、そのものでした。

研究会の中では、一人一人がコメントをしていきましたが、一人のコメントが次の案をよび、それがまた次の案をよび…と、連鎖的に厚みのある見立てと手立てができていったように思います。

やはり他の人の視点にははっとさせられるものがあります。

この練習を続けながら、自分の視野とコメント力を広げていければ…◎

記録： ほんのり（臨床心理士）

日 時：2013年8月24日(土) 18:30～20:30

場 所：茨木市市民総合センター

参加者：6名（大阪府SC、兵庫県SC、奈良県SC、京都府SC）

本日の話題：

1. 輪読「アタッチメントと臨床領域」第10章

2. ケース担当者からの相談を聞いてコメントする

次回開催予定：2013年9月23日(土) 12:30～